

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 19 日 (2009.2.19)

【公表番号】特表 2008-542795 (P2008-542795A)

【公表日】平成 20 年 11 月 27 日 (2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報 2008-047

【出願番号】特願 2008-510054 (P2008-510054)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/04 (2006.01)

G 0 2 B 3/08 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 B 27/28 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 E

G 0 2 B 5/04 D

G 0 2 B 5/04 B

G 0 2 B 3/08

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 B 27/28 Z

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 25 日 (2008.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

投影機器であって、

a) 照明部分を含み、該照明部分は、

i) 実質的に非偏光の複数波長を有する照明ビームを提供する光源と、

i i) 実質的に偏光された複数波長の照明ビームを提供するために、前記実質的に非偏光の照明ビームを偏光するための複数波長ワイヤグリッド偏光器と、

i i i) 均一化された複数波長の偏光ビームを提供するために、前記実質的に偏光された複数波長の照明ビームを調整するための均一化装置と、

i v) 一組の色から、反復するスクロールされたシーケンスの色を提供することによって、第一成分波長照明、第二成分波長照明、及び、第三成分波長照明をもたらすためのカラースクローリング素子とを含み、

b) 前記カラースクローリング素子から第一、第二、及び、第三の成分波長照明のシーケンスを受け入れ、ディスプレイ表面に向かう投影のために、変調された成分波長ビームをレンズに提供するように、前記第一、第二、及び、第三の成分波長照明を透過型の薄膜トランジスタ液晶偏光器パネルで順次的に変調するための成分波長変調部分を含み、

少なくとも 1 つの成分波長偏光器が、前記単色トランジスタ液晶変調器パネルから離間され、

少なくとも 1 つのフレネルレンズが、前記単色透過型液晶変調器パネルから離間されて

前記照明部分内に配置される、
投影機器。

【請求項 2】

前記ワイヤグリッド偏光器装置の前記ワイヤ表面側は、前記液晶変調器パネルに向かって方向付けられる、請求項 1 に記載の投影機器。

【請求項 3】

前記ワイヤグリッド偏光器装置の前記ワイヤ表面側は、前記液晶変調器パネルに向かって方向付けられる、請求項 1 に記載の投影機器。